

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



第5回砂金掘り大会の様様



こども金山探検隊の1コマ



やまめ祭りのメインステージ



やまめ祭り つかみ取りスタート

夏のイベント大盛況でした!

こども金山探検隊、砂金掘り大会・有名私学交流砂金掘り大会

博物館恒例の夏のイベント・こども金山探検隊、砂金掘り大会、私学交流砂金掘り大会など、今年も盛況でした。砂金掘り大会は参加者が100人を超える熱戦が展開されました。行事の度に博物館のイベント広場（駐車場）に人が集まるということはとても活気があって嬉しいことです。

さて、博物館イベント広場で行われた第22回やまめ祭り。地元温泉旅館関係者の皆さんが企画・主催し、大々的に行ったお祭りですが、博物館もこのお祭りに協賛しました。広場には「富士川流域王国コーナー」が設けられ、山梨県はじめ、市・町・企業・組合・峡南JC・NPOなど広域的に多くの出店があり、にぎわいを見せました。

また下部川に実行委員会特注の“ヤマメちゃん”を流して1着（ハワイ旅行）を競うヤマメレースや、ヤマメのつかみ取りなど、イベント盛りだくさんでした。

博物館イベント広場での地域のお祭りは5月のしもべおんせん祭りに続いて2回目。この日限り発行の“やまめ祭りパスポート”を利用して砂金採り体験をしたお客様にはもれなく、やまめ祭り限定特典の素敵な景品があり、多くの皆さんが砂金採りを楽しみました。

実行委員会では新しい企画を練り込み、来年もやまめ祭りを計画中ということです。とても楽しみです。

何もしなければ何も起きないということ

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷 口 一 夫

新「身延町」スタートから1年経ちました

新「身延町」がスタートして、早くも1年を迎えました。この1年、プラスの変化はあったでしょうか？新「身延町民」として、あなたは何かされたでしょうか？町を元気にするためには、町民の皆様が何か身近でできる目標をもってプラス指向の行動が大事な気がいたします。

私は、合併後の「博物館だより」で観光立町「身延町」を考える「～地域活性化は行政・地域・住民の大同団結で～」、「身延町の活性化は広域的な視点で」とか「地域の活性化は住民意識一つ」などと考えを述べてきました。

何もしなければ何も起きない

地域を良くしようという思いが強ければ、必然的に良い方向へ向かうでしょう。でも、何も考えず、何もしなければ、当然、何も起きません。むしろ後退してしまいます。また色々考えてやっても、世の中の流れの速さに遅れていけば結果として後退します。

また、下図のような状態を考えてみてください。

マウス君、回転台の中で頑張っています。でも出口がありません。止まれば元の位置です。

目的もなくただ頑張っている姿です。

実はこんな事例、私達の身近で常に起きていることなのです。いま頑張っていることが、次にどうつながっているのか、未来へつながる見通しがあるのか？こんなところへ智恵を使うことが大事だと思います。

見極めは事業をこなすイベントか、

未来につながるイベントか

新聞記事をみると県下各地で色々なイベント情報が載っています。そのイベントの大事なことは、イベントの評価です。往々にして昨年や過去のイベントに対比して「良かったとか、悪かったとか」。そうでなく取り組む皆さんの未来に対する姿勢を評価すべきなんですね。未来を展望していれば、必ずプラスの方向へ向きます。イベントは行事をこなすためにあるのではなく、その地域の人たちがどれだけ前へ向かって取り組んでいるか、マウス君にならないためにも、その姿勢にこそ意味があります。

一つのハードル乗り越える

今年の夏、下部温泉郷の若者が、「やまめ祭り」（やまめちゃんレースなど）に挑戦しました。

これこそ下部温泉郷の未来へ挑戦した素晴らしいイベントだと評価できます。意識が結集したことで一つのハードルを乗り越えた感じです。

その思いが「やまめ祭り」協賛の「富士川流域王国コーナー」に山梨県はじめ、流域の関係市町村の博物館や教育委員会、企業、組合、NPO法人や峡南青年会議所など様々な参加の形で表われました。「目標があって行動する」この姿勢が大事ですね。

「目標があって行動する」イベントであれば、一喜一憂する必要はありません。自信をもってやれば、近

回転台の中のマウス君です。

ちょっと、インタビューしてみませんか。

マウス君、頑張ってますね？
うん、頑張ってるよ。

で、頑張るとどうなるんですか？
えっ、？

目標がないと、これと同じことをしているだけです。



未来には必ず結果がでるでしょう。後はやり抜くだけです。

目標があって行動するということ

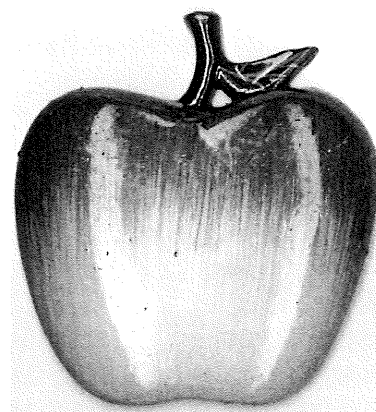
突然ですがここに林檎（写真）があります。

それを見たAさん、Bさんは食べたいと思いました。Cさんは全く無関心。食べたいと思ったAさんは、立ち上がってナイフとフォークを取りにいきました。Bさんは「誰か皮を剥いてくれば食べてもいいよ」、でした。この場合、誰が一番林檎を食べるチャンスがあるかです。

当然Aさんですね。「目的があって自ら行動を起こす」、この大切さを感じてください。

この「林檎」を「地域の活性化」に置き換えていただくと、いま何が必要なのかわかります。

「言うは易し、行いは難し」ですが、湯之奥



金山博物館は、いつもこのスタンスで取り組み、身延町の活性化へ向けた館活動・館外活動を実践しています。「館だより」の既刊号を改めて読み返していただきたいと思います。

夢や目標をもって挑戦している若者を紹介します

佐野さんは海の美しさにひかれて撮影した写真の数々を「みんなに見てもらおう機会を作りたいのですが」と博物館にやって来ました。そこで!!

湯之奥金山博物館 特別展 **「魅惑の海底」** 佐野美麗・スキューバダイビング写真展

期日：平成17年11月20日(日)～27(日)

佐野美麗 (さの みれい) プロフィール

身延町波高島出身。24歳。ダイビング歴2年。

ダイビングを始めたきっかけ

自分の周りでは誰もやっていないことに挑戦したかった。いつか必ず潜ろうと決めていた。私の一つの夢。始めたら自分の世界が広がり、海の美しさを写真に収めようと、写真も始めた。これまで撮影した写真は私の一生の宝物。海の魅力を多くの人に伝えたい。

フォトコンテスト

平成16年「滝沢秀明が選ぶ(オリンパス)μ DIGITAL フォトコンテスト」入選

2005年度「地球の海 フォトコンテスト・ビギナー部門」入選

(当日は、この2点も出展いたします)



スキューバダイビング中の佐野美麗さん in 堂ヶ島 (左) とネッタイミノカサゴ in フィリピン (右)

活動報告

峡南高校インターンシップ

8月1日(月)～6日(土)

当館では、県立峡南高校生のインターンシップ研修の受け入れをしていますが、今年もフレッシュな高校生3名(男子2、女子1)がやってきました。研修は8月1日～6日までの休館日を除いた5日間でしたが、大変良く頑張りました。

通常の博物館運営業務である①来館者の対応などの接客、②体験室における砂金採り指導、③売店での販売実務、④博物館夏のイベントスタッフ体験と、研修内容は広範にわたりましたが、若さとファイトで頑張り抜いたのは評価できました。

ちなみにイベントスタッフ体験は熱中症に注意を促す言葉が飛び交う中での屋外活動。まずは「砂金掘り大会」のため、10kgの砂をバケツに入れる作業や、大会用のフネの配備などの会場作りと準備で、バケツの砂作りも数が多いので汗だくの作業となりました。これらは平素、博物館の裏方の仕事で毎年職員が頑張っている仕事ですが、今年は彼らに頑張ってもらいました。

インターンシップ研修の最終日は砂金掘り大会本番

当日でしたが、この日は本部スタッフとして大活躍。試合が進むにつれフネの水が濁ったり、砂がフネに溜まってしまうため短時間で入れ替え作業が求められますが、博物館友の会、砂金掘り友の会の関東・東海から応援に集まってきてくれた大人と一体になった作業でした。研修の後には、大変だったけどやりきったという達成感に浸ったようです。

毎年、研修生が卒業後も遊びに来てくれますが、話題の多くは研修で頑張った内容です。今年の研修生も必ず博物館へ帰ってくると思います。



会場作りに汗を流す研修生

博物館学芸員実習(山梨英和大生)

8月1日(月)～9日(火)

博物館学芸員資格を取得するために必要な学芸員実習ですが、当館では毎年この実習生受け入れを行っています。今年は山梨英和大学生を受け入れましたが、実習時間は60時間以上が必要で8月1日から9日(休館日を除く)までの8日間、幅広い内容で実習を行いました。

実習生は地元身延町在住で、地域の博物館活動や、地域の歴史を知ることに関心を持っていたため、充実

した実習日程をこなせたようです。

特に当館は「地域活性化の拠点」を標榜し、国史跡中山金山のガイダンス館という一つの切り口だけでなく、多角的な切り口で日常の館活動を展開していますが、それらを十分に理解したようで「博物館の仕事はもっと単純なものと思っていたが多面的で大変、でも意外に面白い場であった」と感想を残していました。立派な学芸員さんになってください。

第5回 こども金山探検隊

7月30日(土)～31日(日)

夏恒例プログラム、2日間にわたった「こども金山探検隊」が今年も無事に終了いたしました。プログラムは1日目が現地登山と粉成作業、2日目が灰吹きと甲州金作りですが、ここ2年、連続して雨天のため現地見学が中止となっていました。今年も朝のうちは雨で現地見学が危ぶまれましたが、出発時には何とか雨も止み、茅小屋金山へ出発しました。

今年の参加隊員は10人で保護者・事務局合わせて総勢37名での登山でした。茅小屋金山へは岩場を登ったり川を渡ったりのアスレチックのようなルート。登山自体がほとんど初めての経験というような参加者も山歩きに慣れた参加者にとっても、大変だったけど楽しいという登山だったようです。入り口から茅小屋金山の宮屋敷までは約1時間、テラスや石造物を見学した後、川べりで昼食を取ってから、ズリ場を見たり鉾石を手にしたりとじっくり見学し、茅小屋金山の石造物

中でひと際大きく目立つ大田八左衛門のお墓に参加者全員お線香を手向けてから下山しました。

博物館到着後、鉾山臼を使っての粉成作業では、臼を使って石を粉にするという作業に意外に人気が集まり、みんな懸命に砕いていました。それこそ小麦粉く



らい細かくなった粉を、今度は沃り分けです。体験室の砂の中に混ざっている金と違って細かいので、注意しないと見落としてしまいますが、子供たちは熱心に細かい作業に没頭していました。

夕方からはバーベキュー懇親会を行いました。子供たちも博物館スタッフと話をしながら焼く係になったり、保護者の皆さんにとってもいつもと違う家族団らんのひとつとなったようです。

2日目は灰吹きと甲州金作りです。初めて見る子供たちや保護者にとっては興味津々で、金が溶けていくその様子には「すごいね」「火の玉みたい」という感嘆の声が上がりました。そして出来上がった3gの金粒を叩き伸ばし、そこに好きな刻印を打刻しました。

毎年この作業では、刻印が上手く出来たりずれたりといろいろなのですが、親子の試行錯誤が繰り返されます。自分で作ったケースに“オリジナル甲州金”を入れて記念撮影をしましたが、完成した自分だけの甲州金には皆それぞれ満足していました。修了式では谷口館長から、全員に巻物修了証書と参加賞が手渡されましたが、全てのプログラムが終わって館を後にする時、皆さんからは「2日間楽しかったです。ありがとうございました。」という言葉をいただきました。スタッフにとっては何よりも一番嬉しい一言です。参加した皆さんにとっても夏の良い経験と思い出になったことでしょう。

第5回 砂金掘り大会

8月6日(土)

こども金山探検隊の翌週の8月6日、第5回目となる「湯之奥金山博物館杯・砂金掘り大会」が開催されました。午前中、一時的に強い雨は降りましたが、ほぼ天気にも恵まれ、ジュニア部門、男女初心者部門ともに参加者が50人、全体では100人を超え、これまで開催してきた中で最も盛り上がった大会となりました。

暑いこの時期の日差しを避けるため昨年から導入しているイベントテントの下には、一度の試合で20人が競技できるよう、今年も20基のフネを並べ、1試合15分の制限時間で、ジュニア部門の第1試合から飛び入り参加者の混成試合、そしてベテラン部門の試合まで全部で7試合行いました。中でも参加者の皆さんが楽しんでもらうために重要なのは裏方の仕事ですが、今年もタイムキーパーや、水替えや砂出し、成績結果算出などには、博物館友の会の皆様にご協力頂き、前回よりもさらにスムーズにプログラムを進めることが出

来ました。

ジュニア・男女初心者部門では10キロの砂に11粒の砂金が混入されており、ベテラン部門では12キロの砂に10粒の砂金。そんな条件の中で3部門中、最も成績の良かった人に贈られる総合優勝は、4分44秒のタイムでパーフェクトだったベテラン部門出場の広瀬義朗さん(神奈川)でした。広瀬さんにはトロフィーと賞状、副賞である下部の味覚セットが贈られ、また各部門上位3人にもメダルと賞状、副賞として、今年も身延町商工会から協賛いただき温泉会館無料入浴券が贈られました。

最近では体験室の番付表もより上のランキングを目指そうと何度もチャレンジしてくれる人も珍しくなく、年々、この大会を楽しみにしている人が増えてきており、暑い中、参加者皆が真剣に競い合い、大盛況に終わりました。大会結果は次のとおりです

ジュニアの部 (9粒)											
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	旭 洋平	11	10:16	14	坂野 愛	8	29:42	27	阪上 拓	6	36:06
2	小山 裕司	11	12:60	15	金子 大	7	30:38	28	楠田 将一朗	6	36:17
3	河野 由	11	13:22	16	松原 聖	7	31:04	29	柴田 幸弘	6	37:35
4	吉田 裕治	10	13:47	17	藤原 もとあき	7	32:03	30	樋口 詩織	6	38:35
5	赤池 純也	10	18:55	18	和田 拓也	6	32:37	31	原田 拓摩	6	38:41
6	赤池 澄奈	10	18:56	19	磯野 絵里香	7	33:03	32	遠藤 昭吾	5	41:31
7	間下 大樹志	9	23:54	20	谷崎 智史	6	33:40	33	望月 秀文	5	43:42
8	埴原 勇太	9	23:60	21	望月 祐希	7	33:40	34	矢崎 裕紀	5	44:02
9	小林 ずみれ	8	26:31	22	長澤 加奈	7	34:09	35	金丸 慶也	4	44:14
10	山本 直輝	8	26:33	23	井上 泰輔	7	34:29	36	筒井 はるな	5	44:38
11	原口 勝成	8	27:55	24	伊藤 柚香	7	34:51	37	北村 健太	4	45:46
12	旗持 天	8	28:39	25	藤原 ようこ	6	35:00	38	小林 若葉	4	48:35
13	磯野 友貴奈	8	28:52	26	塚本 大樹	7	35:00	39	沢登 慶子	3	50:00

初心者の部 (11粒)											
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	小美濃 正年	11	8:52	13	長澤 真貴	10	17:30	25	矢島 浩平	8	27:51
2	柴田 明美	11	10:05	14	柴田 泰子	10	17:59	26	秋山 早希	8	27:51
3	小山 順子	11	10:07	15	原田 政彦	9	19:08	27	一瀬 けい子	8	28:28
4	原口 静香	11	10:22	16	伊藤 祐子	10	19:59	28	吉奥 希恵	8	28:30
5	塚本 直輝	11	10:31	17	金丸 哲也	8	20:36	29	田部井 千昭	8	28:35
6	柴田 龍弘	11	10:43	18	伊藤 陽子	9	20:44	30	佐野 志津	8	28:58
7	水上 美智哉	10	12:38	19	塩江 理沙	9	23:38	31	櫻林 成	8	29:31
8	木内 香奈	10	12:57	20	古明地 宏洋	9	24:25	32	中山 朝江	8	30:00
9	佐藤 大	11	13:39	21	遠藤 茂	7	25:54	33	西村 靖史	7	32:05
10	小野 貴弘	11	14:58	22	大石 宏子	7	27:12	34	藤本 浩史	6	32:24
11	金丸 由美	10	15:17	23	小林 正洋	8	27:45	35	一瀬 仁	6	32:51
12	金子 広江	10	17:12	24	原口 英樹	7	27:45	36	奥山 勇太	7	33:37

ベテランの部 (10粒)											
No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム	No.	氏名	個数	タイム
1	広瀬 義朗	10	4:44	4	高岡 伸五	8	13:35	7	寺澤 保夫	7	17:59
2	近藤 直美	10	5:38	5	川原 敏夫	8	13:39	8	中川 清	6	25:26
3	吉田 寿	9	11:30	6	天野 直人	8	15:06	9	大森 直之	2	41:40
								10	野村 敏郎	2	43:48
								11	原澤 英美	1	47:54

第2回 灘VS開成VS駿台甲府VS山梨学院付属 4校交流砂金掘り大会 8月6日(土)



一般部門の砂金掘り大会が行われた日の午後、2時30分から昨年に引き続き2回目となる「私学交流砂金掘り大会」を開催いたしました。参加校は灘（兵庫）、開成（東京）、地元山梨から駿台甲府、そして初参加の山梨学院付属の4校。

個人戦と団体戦の獲得点数制で、一般競技とはルールが異なってはいましたが生徒のほとんどが、競技の様子を得るための手慣らしに午前中の一般大会にも参加してから本戦に臨みました。

午後の本戦では最初に制限時間8分間で6キロの砂を汰り分ける個人戦で、先鋒から大将まで各校5人、全部で20人が競い、中間成績では、灘16点、開成12点、駿台10点、山梨学院12点と、どこも優勝候補となる僅差で個人戦を終えました。

次なる競技は、各校5人が制限時間内に一人当たり5キロのバケツを汰り分けてリレーをしていく団体戦で、これが優勝の命運を分けるとあって選手達の士気は増々ヒートアップしまし

た。競技の途中、応援生徒から「おー!!」という歓声があがったり、アドバイスが送られたりと各校のカラーが出ていました。そんな中繰り広げられた接戦の末、なんと灘と駿台甲府の獲得点数が同点で1位となりましたが、制限時間を少しリードして残した駿台甲府が、昨年の優勝校である強豪・灘を破るという白熱した試合となりました。続いて第3位には開成、敢闘賞が山梨学院、また各校全体から一人だけに贈られる最優秀選手賞には団体戦で灘のアンカーをつとめた坂上拓君に輝きました。

表彰式の後、灘引率顧問の野村先生から「来年は必ず優勝に返り咲きます!」という力強い言葉、対して駿台甲府顧問の小笠原先生からも「今後もこの大会で各校と交流できることを楽しみにしています」という言葉をいただきました。生徒たちにとっても大変だったが楽しめたという意見が多く、来年もまた来ますという嬉しい言葉も頂きました。

個人戦 学校名	先鋒 (7粒)		次鋒 (5粒)		中堅 (10粒)		副将 (8粒)		大将 (9粒)		合計得点
灘 (兵庫)	吉田裕治	6粒 4点	山本直輝	4粒 3点	和田卓也	6粒 4点	松原 聖	5粒 3点	谷崎智史	5粒 2点	16点
開成(東京)	八重樫 涼	3粒 2点	柿本卓志	4粒 4点	田中 成	5粒 3点	伊藤大修	5粒 2点	吉野 匠	0粒 1点	12点
駿台甲府	筒井はるな	4粒 3点	河野 由	2粒 1点	藤原果歩	2粒 1点	秋山早希	5粒 1点	塩江理沙	7粒 4点	10点
山梨学院	埴原雄太	2粒 1点	樋口詩織	3粒 2点	古奥希恵	5粒 2点	古明地宏洋	6粒 4点	小野貴弘	7粒 3点	12点

団体戦 学校名	1	2	3	4	5	採取金粒 合計	獲得点	ボーナスポイント (0.5P)	合計得点
灘 (兵庫)	吉田裕治	山本直輝	和田拓也	井上泰輔	坂上 拓	16粒 29.11.74	10点	0点	26点
開成(東京)	高倉一也	藤野 遥	伊藤大修	宮内和真	柿本卓志	15粒 26.26.27	6点	1.5点	19.5点
駿台甲府	間下大樹志	旗持 天	佐藤 大	櫻林 成	矢島浩平	16粒 27.20.11	15点	1点	26点
山梨学院	沢登慶子	矢崎裕紀	野田聖也	奥山勇太	小林 遼	8粒 29.52.88	5点	0点	17点

学校名	個人戦点	団体戦点	ボーナス点	最終得点
灘 (兵庫)	16	10	0	26
開成(東京)	12	6	1.5	19.5
駿台甲府	10	15	1	26
山梨学院	12	5	0	17

個人戦は6kg制限時間8分間、1位4点、2位3点、3位2点、4位1点を獲得できる。団体戦は5kg制限時間30分間内で5人一組のリレー方式で、どのバケツにいくつの砂金が入っているかわからないが、チーム全体で20粒の砂金が入っている。団体戦では1位が15点、2位10点、3位6点、4位5点を獲得し、残り時間1分につき、0.5点のボーナスポイントを加算したものが取得点数となる。個人戦、団体戦で獲得した総取得点数で順位を決定する。

増富小学校出前博物館

9月1日(木)

当館では、各校の要請により出前博物館を実施しております。例年、町内の各学校からの要請だけでしたが、今回は北社市増富小学校6学年の社会科学習内で、増富の歴史を知ろうという「増富歴史探検隊」という授業が行われ、その授業内で、須玉の金山金山遺跡を見学した後、遺跡の下を流れる川で砂金を採取してみようという体験授業の取り組みが行われました。当館は増富小学校からゲストティーチャーとしての要請を受け、小松学芸員が赴きました。

増富小学校の6年生は男子女子2人ですが、前の单元ですでに金山遺跡を見学をすませている彼らは、金山の歴史に関して十分興味と知識があり、この授業の締めくくりである砂金を採取してみようという授業に対しても非常に前向きに取り組んでいる様子がかがえました。この授業は研究授業で、北社市管内の学校の社会科の先生方が10数人同行していましたが、6年生と一緒に川での砂金採取にチャレンジしました。まず最初に自然金を見つけたのは女子児童で、続いて何回かの挑戦の末、男子児童も一粒を発見。続いて2人の先生も見つけることが出来ましたが、採取したみんなからは「針先ほ

どの小さな一粒ですが、発見には大きな喜びを感じた」という感想を聞くことが出来ました。

地域の歴史を活用し楽しく学べる体験学習を取り込む授業をきっかけに、地域に対して興味・関心を高め、地域を愛する心を育てるという主旨は、当館の方針と同様であることに共感と好感を持っていますが、各校でこういった取り組みが率先して行われつつあるようです。当館も要望とニーズに合わせた出前博物館に取り組んで参りますので、どうぞご活用ください。



館からのお知らせ①

平成17年度公開講座日程のお知らせ

前号でお知らせいたしました平成17年度公開講座『湯之奥金山とその周辺～河内(峡南)の原風景を追って～』各回ともに午後2時から4時まで博物館多目的ホールにて開催いたしますので、多くの方のご聴講をお待ちしております。

湯之奥金山とその周辺 ～河内(峡南)の原風景を追って～

通算回	期 日	演 題	講 師
第41回	10月15日(土)	河内の山に生きる	信州大学教授・人文学部副学部長・歴史学博士 笹本正治氏
第42回	11月12日(土)	穴山氏と河内領	前山梨県史編さん室長 秋山敬氏
第43回	12月17日(土)	甲斐と駿河を結ぶ道	身延山大学教授・文学博士 望月真澄氏
第44回	平成18年 1月14日(土)	河内の産業と経済の歩み	山梨大学教授 齋藤康彦氏
第45回	2月18日(土) (予定)	古代の甲斐国	山梨県立博物館館長・文学博士 平川南氏

※『館だより第33号』7ページで公開講座日程表に誤りがありました。ここにお詫びするとともに上記日程表のとおり訂正させていただきます。

訂正箇所 誤) 第41回公開講座 期日10月5日(土)→正) 10月15日(土)

館からのお知らせ②

秋の遺跡見学 参加者募集!

6月の遺跡見学会に続き「秋の遺跡見学会」を開催いたします。10月は長野県・金鶏金山、11月は丹波山村・丹波山金山です。湯之奥金山と同時代の金山遺跡を、自分の足で歩いて歴史を感じてみませんか。

「長野県・金鶏金山遺跡見学会」

期日：平成17年10月16日(日) ※雨天中止
定員：15人 (参加無料)

- 両見学会ともに、博物館まで電話・FAX・メールにてお申し込みください。日程の詳細はお申し込みいただいた方に後日お送りさせていただきます。

「丹波山村・丹波山金山遺跡見学会」

期日：平成17年11月19日(土)
定員：20人 (参加無料)
共催：丹波山村教育委員会
※雨天の場合、翌日の11月20日(日)に順延。
両日とも雨天の場合は中止。
現地指導者：十菱駿武氏(山梨学院大学教授)

- ・その他のお知らせ…「第31回親子映画観賞会」
「第32回親子映画観賞会」

期日：平成17年11月5日(土) 午後6時～
期日：平成17年12月17日(土) 午後6時～

上映作品未定。観賞無料です。詳細はチラシ、管内放送でお知らせいたします。

博物館日誌 (平成17年7月～9月)

9月					8月					7月				
日	月	火	水	木	日	月	火	水	木	日	月	火	水	木
1	30	29	28	27	1	31	30	29	28	1	31	30	29	28
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
防	読	北	長	月	学	峡	第	茅	休	夏	夏	UT	UT	中
災	売	社	野	刊	芸	南	5	小	館	休	休	TY	TY	富
訓	新	市	県	誌	員	高	回	屋	日	み	み	「	「	中
練	聞	増	金	『	実	校	こ	金	館	自	自	特	特	中
於	於	富	鶏	館	習	交	も	山	内	由	由	別	別	中
於	於	小	金	博	初	流	も	探	ガ	研	研	組	組	中
博	博	学	山	物	日	砂	も	探	ラ	究	究	宝	宝	中
物	物	年	下	館	々	掘	も	探	ジ	プ	プ	く	く	中
館	館	出	見	専	々	り	も	探	コ	レ	レ	ス	ス	中
専	専	前	学	用	々	大	も	探	ロ	ゼ	ゼ	ペ	ペ	中
用	用	博	年	駐	々	会	も	探	ジ	ン	ン			

編集後記

夏休みはいろんなイベントがあり、そして多くのお客様にもご来館いただきました。お陰様で今年の夏の入館者も右肩上がり。次号の『館だより』では、15万人目のお客様をご紹介しますことができそうです。さて、残暑もそこそこに秋も深まりつつある今日この頃。しかし夏の疲れが一気に出てくるのもちよ

うどこの季節で、体調管理には十分すぎるくらいの気を使った方がいいそうです。お知らせとおり、博物館も公開講座がせまり、各イベントの開催も予定、また遺跡見学会も参加者募集いたします。食欲の秋とともに体力も復活させて、秋冬のイベントにもどうぞご参加ください。それにこの時期は300号線の山一帯の紅葉と、千円札の富士山を眺めながら、下部方面へ向かってるのが、いいドライブコースなんです。

博物館だより 第34号 平成17年9月30日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html